

多発性骨髄腫研究助成 2013-2014 年研究課題選考会総括

上記選考会を 2013 年 3 月 16 日メルパルク京都にて日本骨髄腫患者の会・副代表上甲恭子様お立ち会いのもと、応募のあった研究課題 7 題について各研究の「重要性・妥当性」「計画・方法の妥当性」「独創性・革新性」「波及効果・普遍性」「遂行能力・研究環境」の 5 つの評価項目及び総合評点について、先ず 5 名の選考委員の各申請研究に対する講評を述べて戴いた上で意見交換を行い、事前に提出されていた評点結果を集計し、総合評価に対して更なる意見交換を行った上で、下記の研究課題を採択しました。

堀之内朗記念助成

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 生体材料工学分野 日浅雅博先生
「薬剤抵抗性克服と骨形成誘導活性を併せ持つ新規骨髄腫治療薬の開発」

特別助成

東京女子医科大学医学部血液内科 今井陽一先生
「多発性骨髄腫の新規治療標的カルシニューリンを標的とした治療法の開発」

応募いただきました課題はいずれも難治性疾患である多発性骨髄腫の克服に重要かつ優れた研究でありました。採択された両研究課題はともに多発性骨髄腫に対する新規治療の開発をめざしたものであり、独創性・革新性にすぐれ、今後の発展を大いに期待したいところでもあります。基礎・臨床を問わず、今後も骨髄腫研究の発展と診療の向上をめざし、日夜奮闘されておられる諸先生から多数の応募があることを祈っております。

2013 年 3 月

日本骨髄腫患者の会研究助成 選考委員会委員長
日本骨髄腫学会理事
島崎 千尋